



火の柱

Friends of Jesus 2026年6月第747号

イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②貧しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を貴ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

テーマ「目を覚ましていなさい」1p「隣人愛に生きる」東海林昭雄、2p「ひとりごと」中満恵『私の宣教論』長谷川勝義 3p「藤本喜代枝さんを偲ぶ」長谷川勝義 「忍耐と励まし神による希望」高島史弘 4p「第101回夏期聖修会の予定」高島史弘「会計報告」小野島正彰

隣人愛に生きる

会長 東海林昭雄



「第二十四回賀川豊彦関係団体・協同組合連絡協議会が、賀川豊彦記念松沢資料館礼拝堂を会場に、五月二十七日に開催されました。その中

でイエスの友会推薦で、社会福祉法人聖隷福祉事業団の加入が承認され感謝しております。その際、このような推薦の主旨を語らせていただきました。同事業団は戦前、結核が死に至る病として忌避されていた時代、患者やその家族は大変辛い境遇にありました。親族に見捨てられ路頭に迷う人すらありました。そのような患者たちの受け皿になったのが、長谷川保先生をはじめとする浜松にある教会の青年会の人たちでした。彼らは患者と寝食を共にし、畑を耕して生活していましたが、結核患者がいると知られるや、反対運動が起こり、どの地に移転しても同様でした。無給の奉仕とはいえ、時には食べるものもなく、患者さんの残した食事を、改めて煮炊きして飢えを忘る、その闘いは壮絶なものでありました。そのような働きの実として生まれたのが、聖隷福祉事業団です。丁度昨年、浜松で夏期聖修会が開催され、車で会場に向かっていく途中、サイレンを鳴らしながら走っている救急車がありました。通常のもとは違いマイクロバスほどの大きさのもので、その側面には「聖隷浜松病院小児救急

救命センター」とありました。同病院は、二十四時間体制で重症小児に対応する基幹病院として用いられています。経営的には採算の合わないことと思われませんが、一人の幼子を救わんとするその姿勢が明らかです。もう一つ同事業団は国内で初めてドクターヘリを導入しました。離島で急患が出た場合、船では間に合わないこともあり、ここにも隣人となり窮する一人ひとりの存在を重んじる姿勢を見ます。このこともまた採算的には厳しいものがあることが想像されますが、頭が下がります。昨年聖隷クリストファー高校野球部が静岡県大会で優勝し、夏の甲子園大会に出場しました。初戦に勝利し、同校が校歌として讃美歌三九三番が歌われました。第一番は「かみのひかりは 世のこみちの くらさすみにもかやく。かみをたたえて なすつとめに たかきひくきの へだてあらじ」となっております。それぞれが独自の校歌を持つているのは当たり前の中、敢えてこの讃美歌を校歌として採用したところに「隣人愛」をテーマとする姿勢を見ます。更に長谷川先生の働きの結果、国民として恩恵を受けている二つのものがあります。「国民皆保険」と「生活保護法」です。これは賀川が社会活動を始めた「救貧活動」と「防貧活動」が結実したものであるといえます。以上のようなことを語りながら、聖書を紐解いたところ示されたのは、フリビの信徒への手紙一章二十節と二十一節のみ言葉「生きるにも死ぬにもわたしの身によってキリストが公然とあがめられるようにと切に願い、希望しています。わたしにとつて、生きるとはキリスト、死ぬことは利益なのです」でした。

長谷川先生の生涯は徹底的にささげつくしたものでした。住まいは結核患者が使用していた病室、聖隷福祉事業団は医科大学を創設する構想があったようですが、一県一医科大学との国の施策もあり、実現しませんでした。しかし長谷川先生は新たに静岡県内に設立された浜松医科大学の献体第一号となり、妻の八重子さんは第二号となっております。医学の発展のために貢献したいと願った彼は人骨標本として聖隷クリストファー大学の資料館に展示され、キリストと共に死に、生きるという信仰と、その希望を明かし続けています。今年度の夏期聖修会、瀬戸内海の直島、豊島、小豆島で開催することになりました。特に豊島は戦時中、賀川は左右両陣営から命を狙われる状況にあり、身を潜めながら執筆していた島です。賀川が提唱した農民福音学校の働きはこの地においても現在実施され、立体農業が行われています。米や麦を作る平面的な農業ではなく、山に椎や栗、胡桃や団栗などの山羊、羊、豚などの家畜の餌になるものを植え、山羊や羊からは乳と毛を取り、肉はハムやソーセージに加工、山間部では養蜂、池では鯉の養殖、農業に不利な傾斜地が多い日本にあつて、冷害や病害虫のために不作に悩む人々にとつては、自然の循環を利用するこの農法は功を奏しました。賀川は『立体農業の研究』という邦訳と共に、立体農業と協同組合運動によって理想郷へと生まれ変わって姿を『乳と蜜の流るる郷』で描いています。そのような地で開催しますので、是非ご参加ください。すようご案内いたします。

ひとりごと

中満 恵

姪っ子たちが幼い頃、スウェーデン人の義兄は娘達に「大草原の小さな家」を見せなかった。理由を聞くと「あれは先住民の虐殺を正当化するストーリーだから」と言われ、返す言葉が見つからなかったことを覚えていて。私と姉は幼い頃「大草原の小さな家」が大好きだった。

スウェーデンなど北欧諸国は長い間、隣国ロシアの脅威を常に感じつつ、軍事的には中立的な立場を保ち、極めて高い外交力によって国を守り発展させてきた歴史を持つ。

黙示録3章の7つの教会の箇所を読みながら一年ほどかけて、教会史を学んだことがある。教会史の講義は面白くてわくわくした。ピルグルムがメイフラワー号に乗り新天地アメリカ大陸へ渡り、キリスト教国であるアメリカ合衆国が建国される歴史の流れは確かに、胸躍るストーリーだった。しかし5千万人から1億人の先住民が虐殺されていった事実は、封印され続けてきたのではない。

2023年10月以来、ガザとイスラエルで起きている出来事に、ご立派なクリスチャン達がSNSで次々とイスラエル国旗を掲げ「I stand by Israel」「I pray for Israel」と宣言するのを見て、私は静かに彼らのフォロワーを外した。

彼の地に、縁もゆかりもないシオニストが、英国の三枚舌外交によって建国し「イスラエル」と名前をつけてしまったために、歴史的背景を何一つ学ぼうとしないクリスチャンは聖書を曲解した挙句、

イスラエル建国は神の預言の成就だと信じ込んでいるのが申し訳ないけど滑稽だ。中田重治は残念ながらシオニズム思想に飛びついた一人だった。内村鑑三もそう。賀川豊彦はどうだったのだろう。私にも驚かない。5年前、多くの牧師達が講壇やYouTubeから堂々と「トランプは神が立てた使者だ」と語っていた。今そんな事言う人いる？ 人間なんて所詮そんなものだ。

聖書のイスラエルと現代のイスラエル国家を同一視または混同することに、全然妥当性はない。旧約聖書のヨシュア記はじめ各所に「聖絶せよ」という神の命令があり、イスラエルが悉く従った記述を持つて、現イスラエル国家のやっていることの正当性を主張する人がいる。全く間違っている。聖書はそういう読み方をする書物ではない。旧約時代、地上は永い年月罪に喘ぎ、民は目に見える「人や偶像」にしか望みを持たず挙句の果てのジェノサイド、英雄ヨシユアの死後は灰色の時代、真の王である神をどこまでも無視して人間の王を待望し、甚だしい悪人である王たちは、主の前にことごとく罪を犯した。そして、イスラエルは滅んだ。原罪を根として、世界はありとあらゆる悪が満ち溢れた。神はそれでも人を極限まで愛し許していたというのが全てである。

旧約時代と新約時代の間には、700年ほどの空白があると言われる。「罪と荒廃と凋落と離散」という空白の果て、遂にメシアは来られた。

この数年1人でコソコソとシオニズムを学び、その闇深さに戦慄している。学問として確立されていないかもしれないが、私はこのシオニズムの実態こそがエペソ

書6章にある「支配と権威、暗闇の支配者天にある悪の諸霊」だと思っている。

ともあれキリスト者は、アメリカ帝国の没落を目にし、発狂国家 自称イスラエル人がつくったあの国、が世界をめっちゃくちゃに破壊していくさまを今後も支持しながら「キリスト教会」を標榜していくのだろうか。未信者の方は厳しく冷めた目でみていることを、クリスチャンは知っておいた方がいい。

どうかシオニズムの嘘に気がついてほしい。目を覚ませと私は言いたい。

私の宣教論

副会長 長谷川勝義

日本人の心の中にすっと入っていくキリスト教こそ、本当のキリスト教だという信念がある。路傍伝道を一生懸命やっけていてもなかなか冷めていて日本人の心には入っていかない。韓国やブラジルの人が来て、一生懸命やっても、何かだめだ。フィリピンの人たちがハレルヤ、アーメンと大声でやっても、歌声でがなり立てても日本人は冷めてみている。私はもう何十年以上もクリスチャンで毎週教会に行き、熱心な方だ。アッセンブリー教会とか、福音派の人たちが懸命にいろいろな活動をしているが何かうすべりしてないだろうか？ 空回りの伝道をしているように見えてならない。空回りではない、本当の伝道なんてものがあるのか。日本人にキリストを宣べ伝えることが出来るのか。キリストを宣べ伝えるということはどういうことか。キリストを体現し、キリストの生き方を皆に教えるということか。

キリストに倣って生きるということか。使徒たちは、本当にキリストに倣って生きたように思う。だからこそ、大勢の弟子ができ、信徒が一つになり、教会を形作った。だからむしろ考えないで、私たちは、ただ、キリストに従う群を作ればいいのではない。キリストに倣う群を作れば、そこに教会ができ、群れとして成長する。難しくはない。エペソの信徒への手紙5章1節に「あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。」と言われてるように、神に倣う者、すなわち、それはキリストに倣う者であるということだ。キリストの如くに神を愛し、神に愛されて生活をすればいいということだ。そうすることによって、この神の群れは成長する。教会はどんどん成長して、広がり、大きくなる。パウロがエペソやフィリピで伝道したように、この日本の地で我々が伝道すればいい。成長する教会を私たちは目指す。みんなで祈る。教会の成長の為に祈り続けることが必要だ。そして、やはり聖霊の助けが必要となる。聖霊の力により頼んで教会がどんどん成長するように祈ることが必要だ。私達一人一人が伝道者となって働く必要がある。私たちは、もう一人一人が立派な伝道者として働く。

仏教や神社が日本では、主流だから、キリスト教に立ちはだかる。それに負けないうようにしなければならぬ。どのような立ち向かうのか。その武器を私たちは身に付ける必要がある。仏様、神様はやはり実体のないもので、それは真の神様、仏さまとは違うということをわかってもらう必要がある。我々が信じる神や仏は偶像ではないということを教えなければなら

だから考えようによっては、仏教や神社が強い日本に於いての方がかえってキリスト教の本当の神様のことを教へやすいということかもしれない。仏教や神道を通してキリスト教はかえつてわかりやすいと考えればよい。そう考えれば、私たちは、これから、キリスト教を正々堂々と日本人々に語つていけそうな気がする。これが、私の宣教論の結論です。



藤本さんは、

94才でした。最後まで、温和で優しくそして、神様の忠実なしもべでした。ずっと独身を貫きました。教会では忠実な信徒と

して、お拝には 必ず出席し、朝拝会やイエスの友会も欠かしませんでした。彼女は特に、母親からの信仰を引き継ぎ、祖父からも強い信仰の影響を受けたと思います。幼いころから教会へ行き、日曜学校で御言葉を聞き、やがて、北陸女学校に入学し、そこで洗礼を受けました。彼女は神戸

忍耐と励ましの神による
希望

事務局長 高島史弘

私は、小学生の頃に、悪さをして、先生を泣かせたことがあります。その先生は、新任の先生で、情熱にあふれていて、『あすなろ』という学級新聞を作つて発行してくれていました。「あすなろ」には、明日はヒノキのように大きくなろうという、成長への前向きな意味が込められています。子供たちの将来への期待を現わすものでしょう。その先生の姿を見ながら、私も将来、先生になりたいと、少し思つたのを覚えています。実際には私は、大学にも行つておらず、学校の教員の資格

一人の生徒と4年間のうち、実質2年間、かわる中でも、忍耐しなければいけないことがいろいろありました。成長には時間がかかるし、失敗することもあるので、忍耐が必要です。考えてみれば、私の小学生の頃の担任の先生もよく忍耐して下さいと思います。

今日の聖書の個所では、忍耐と励ましの神様のことが示されていました。私達にとつて最高の教師でもあるイエス様は、どれくらい、私達に対して忍耐をして励まして下さっているでしょうか。

何度も何度も、神様に喜ばれないことを思い、してしまう失敗の多い私達に對して、イエス様は忍耐して下さつて、悔い改めていけるように、待つてくださる。氣持ちが落ち込んだら聖書の言葉や様々な形で励まして下さる。



イエスにあつて、希望をもつて生きていけるようにしてください。どんな世界の状況にあつても将来と希望を持つていけるようにしてください。イエスは忍耐とはげましの模範である。そのイエスにならつて、神の栄光をあらわすものでありたい。(豊橋朝拝会での奨励から)

香川県、豊島(てしま)に集
まろう

イエスの友会第101回 夏期聖修会予定表

主題 聖書の聖句

へブル5:7 キリストは、人としてこの世におられたとき、自分を死から救うことのできる方に向かって、大きな叫び声と涙をもって祈りと願いをささげ、そしてその敬虔のゆえに聞き入れられました。(新改訳)

主題綱領 五綱領 第一綱領 『イエスにありて 敬虔なること』

7月27日(月)

●直島教会 集合

●直島教会の礼拝は福田先生により

2時から、行います。(自由参加)

宇野港 — 直島家浦港

高松港 — 直島家浦港

フェリー11:00—11:20 フェリー10:11

— 11:04

フェリー12:15—12:35 フェリー12:40

— 13:30

旅客船13:30—13:45 宮浦港より徒歩5〜10分程度600〜700円で教会に行けます。

●受付 14時〜

●開会礼拝14時半〜 奨励 福田哲牧師 司会 金子 奏楽 長谷川

●オリエンテーション15時半〜

●宮浦港へ移動 16時〜 四国汽船フェリー

☆待ち時間に路傍伝道 宮浦港 16時

35分発 宇野港 16時55分着

宇野港 17時30分発 豊島家浦港

18時着

●宿チエックイン たかまつ屋 荷物を

おいて

●夕食 19時〜 夕食 宿から徒歩10分 食事処フアクトリー(アミューズ) ●交流会〜20時半終了 宿へ

7月28日(火)

●早天祈禱会 7時から7時50分

奨励 リリアン宣教師 司会 高島弘

●朝食 8時から たかまつ屋 か民泊 田村家

●豊島教会へ移動



日本キリスト教団香川豊島教会

●9時豊島教会 島内ガ

イド 福田

哲牧師、藤崎盛

清氏より車の

提供あり。

●島内巡り

9時半 ①

神子が浜

産業廃棄物処

理地跡

●昼食 12

時 豊島教

会でバーベ

キュー

●島内巡り 13時半〜 ② ナオミ荘

(育愛館関係施設) 神愛館跡 イエス団

保育園、

藤崎農園(立体農業実践、農民福音学校)

●夕食 18時〜 古民家の食事処

●豊島教会へ移動

●19時〜 特別賛美と証 イエスの友

会大会19時半から21時

7月29日(水)

●早天祈禱会 7時から7時50分 奨

励 金子信一 司会 及川健治

●朝食 8時から たかまつ屋

●豊島教会へ移動

9時より10時半 講義「賀川豊彦論」 黒川知文 教授

●10時半〜11時半 イエスの友会

大会 司会 事務局 奏楽 菅野直基

●11時半〜 閉会礼拝 奨励 東海林

昭雄 司会 金子信一 奏楽 長谷川勝

義

●12時〜昼食 島キッチン弁当 昼

食後解散

☆ 移動中などで機会あれば、随時 島

の人々のために祈り、路傍伝道を行

う。(有志)

●夏期聖修会への参加申込は、振込をもつて行う。申込締切は2026年7月10日

(金) 厳守

参加費4100円+個人経費21,900

0 Ⅱ 全日程参加費26,000円

部分参加費1日1500円

●受付から解散までの費用を20名の想

定で計上しています。

●しるしを記入して合計額を添えて申し

込んでください。

●移動費用船運賃は各自、用意ください。

直島家浦港 — 宇野港

直島家浦港 — 高松港

フェリー12:45—13:05 フェリー11:30

— 12:30

高速艇 13:55—14:10 フェリー14:20

— 15:20

フェリー14:55—15:15

【101回大会報告】

《二〇二六年三月以降二〇二六年五月末

月迄の状況》

◎会費(三千円)六名(佃和男、和氣一樹、

安間孝明、松原辰宣、広崎仁一、今関公雄)

◎購読料(千五百円)四名(安間孝明、篠崎恭久、今村英彦、平松英治)

◎維持費(一万二千円)二名(和氣一樹、安間孝明)

◎登録費(五百円)一名(安間孝明)

◎イースター献金一名(今村英彦)

◎特別献金一名(和氣一樹)

◆会費納入と献金をお願い◆

尊い献金と会費等でイエスの友会の活動

をお支え下さり、イエス様にあつて感謝

いたします。厳しい折ですが、改めて会費

等の納入をよろしく願います。

▽たくさんの方から会費や献金をいただき

ました。感謝します。引き続き、各事業

活動の費用のための会費や献金をお願い

します。

会費、献金、維持費、購読料等の振込先は、

次のとおりです。

▼郵便振替口座 「〇〇一七〇一七二四

九五八六」

加入者名 「イエスの友会本部」

いつもご支援を心から感謝申し上げます

(会計担当 小野島正彰)

「火の柱」第747号

発行人 東海林昭雄

発行所 イエスの友会本部

発行日 2026年6月15日

本部事務局4411 8016 愛知県豊橋市弥

生町西豊和4-7

高島史弘(イエスの友会 事務局長)

携帯 00-99949-51190メール

takashima_nb33@japan.email.ne.jp

郵便振替加入者 イエスの友会本部

口座番号 001701749586

火の柱編集 長谷川勝義

火の柱原稿メール先 b1wp5y@xj.comuf.a.jp

〒440-0026 愛知県豊橋市多米西町2-

20-12 電話・FAX 0532-614822